

会 議 録

- 会議の名称 富士川町介護保険運営協議会
富士川町地域包括支援センター運営協議会
(合同会議)
- 会議日時 令和2年12月21日(月) 午後7時30分から午後8時30分
- 開催場所 保健福祉支援センター 1階保健指導室
- 出席者 委員12名(欠席者2名) 事務局5名 傍聴者1名
- 議題 サービス見込み量について
第8期介護保険事業計画(案)について
パブリックコメントについて
その他
- 運営協議会内容
 - 1 開会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 議事
 - (1) サービス見込み量について
 - (2) 第8期介護保険事業計画(案)について
 - (3) パブリックコメントについて
 - (4) その他
 - 4 その他
次回のスケジュール 令和3年2月16日(火)
 - 5 閉会

・ 発言の内容

議事

(1) について

事務局説明

< (1) についての質疑応答 >

サービス見込み量については質疑なし

(2) について

事務局説明

< (2) についての質疑応答 >

委員： P37 基本目標 1 1 健康づくりの推進の成果の指標「現状の健康状態がとてもよい、まあよいと答えた人の割合」の現状値が 81.3% であることが高い数値と感心した。目標値を 82.0% に設定した根拠は具体的データが何かあるのか。

成果指標「平均自立期間（要介護 2 未満）の参考データである KDB システムは全国のデータなのか。目標値は KDB システムから出される数値なのか。

事務局： KDB システムでは、毎年、町、県、国の平均自立期間が出されている。目標値については、以前のデータと比べながら設定したが、希望も含んでいる。平均自立期間は、経年推移をみると変動が大きかったため、目標が達成されやすい数値設定とした。

委員： 目標値は甘くも厳しくも設定できる。もう少し高めに設定しても良いのでは。P49 基本目標 3 1 地域包括ケアシステムの構築の成果の指標「地域包括支援センター（ほうかつ）の役割をしっかりと答えた人の割合」の目標値 40.0% については、もっと多くの人に知ってもらったほうが良い。もう少し高めに設定しても良いのではないか。

事務局： 地域包括支援センターの認知度については、前々回、前回のニーズ調査と比べ、数値は高くなっている。今後も CATV 等を通じて周知を進めていく。

(3) について

事務局説明

< (3) についての質疑応答 >

委員： パブリックコメントの閲覧方法が、町ホームページと福祉保健課とあるが、ホームページを見られる人は限られる。福祉保健課の窓口に来庁する人は少ない。もう少し広く、多くの人に見ていただき、意見をもらうためには、例えば、本庁舎、町民会館などに置くなど、広く意見を聞くにはそのような場所も加えてもよいのではないか。

事務局： 今回のパブリックコメントは、「ふじかわ障害児・障害者プラン2021」と合わせて行うことを考えていた。福祉保健課の窓口で希望者に配布することも考えていたが、再度課内で検討して、広く意見をもらえるようにしていきたい。

(4) その他

委員： コロナで目標設定がしにくい状況で目標値を高め設定するとはいかないだろうが、K委員からの意見について同感。P49 基本目標3 1地域包括ケアシステムの構築の成果の指標「地域包括支援センター（ほうかつ）の役割をしっかりと答えた人の割合」と、P52 2認知症対策の総合的な推進の成果の指標「認知症に関する相談窓口を知っていると答えた人の割合」は、目標値を高め設定してもらえれば嬉しい。もしこの数値でも、設定した目標値の根拠について文面に追加してもらえるとありがたい。

それに引き換え、サービス見込み量が厳しめの設定になっている。他市町村は徐々にサービス見込みを高めていくが基本的に同じ数字なので、令和5年度までみると厳しい設定となっている。今後の地域包括支援センターや社会福祉協議会の、介護予防的取り組みで、サービス量を抑えていけるよう、地域の力に期待している。集いの場やコミュニティが成立しないため、全国的に孤立死が多くなっている。富士川町に当てはまるわけではないが、介護保険計画の設定が厳しい中で、今回例年通りの数値目標を設定しているので、地域の力に期待し、頑張ってもらいたいと思う。